平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名　株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤　結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 吉川　恭史　TEL 0568-33-4388

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	191,546	2.7	13,903	55.6	13,868	48.9	6,786	14.7
23年3月期第3四半期	186,536	3.1	8,932	△13.2	9,312	△11.1	5,914	21.3

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　6,920百万円　(16.7%)　23年3月期第3四半期　5,928百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12,479.76	12,454.53
23年3月期第3四半期	11,061.19	11,034.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	135,185	53,384	37.2
23年3月期	125,442	48,037	35.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　50,309百万円　23年3月期　45,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	1,400.00	―	1,400.00	2,800.00
24年3月期	―	1,500.00	―		
24年3月期(予想)				1,500.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	2.7	17,000	20.6	16,800	16.3	8,600	14.5	15,813.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	585,192 株	23年3月期	585,192 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	41,364 株	23年3月期	41,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	543,828 株	23年3月期3Q	534,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から消費動向は徐々に回復の兆しが見られつつありましたが、海外経済の減速、円高の進行など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、第３四半期累計期間においても積極的な出店を引き続き実施し、グループ店舗施設数は89店舗増加し1,444店となりました。

同時に、管理体制の強化に向けたガバナンス強化へ取り組み、平成23年11月１日より当社グループは持株会社体制に移行いたしました。これにより事業部門とグループマネジメント部門の位置付けを明確にし、統制の取れた組織体制をめざし経営体制の強化に取り組んでおります。また、コンプライアンスの強化および収益性の向上を目的とし、組織の再編・最適化を行い今まで以上の業務効率の向上に取り組んでおります。

当社グループは、ホールディングスが牽引することで、“管理体制の強化” 及び“店舗網の拡大”に努め、更なる収益力の増強と経営基盤の強化にグループ一丸となって取り組んでまいります。

収益面においては、主力事業セグメントの小売サービス事業において「ゲオショップ」の積極的な出店を引き続き行ってきたことに加えて、成長市場であるリユース衣料市場に展開する「ジャンブルストア」の好調な推移もあり、売上高は前第３四半期累計期間に比べ5,009百万円増加し、191,546百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

収益力の増加に対して、利益面につきましては、積極的な店舗展開に伴う費用、体制強化に向けた人件費の増加があったものの、組織の最適化及び効率化を全社的に進めたことで、営業利益は前第３四半期累計期間に比べ4,970百万円増加し、13,903百万円（前年同期比55.6%増）、経常利益は前第３四半期累計期間に比べ4,556百万円増加し、13,868百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

特別損益につきましては、前期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失が発生したこともあり、当四半期純利益は前第３四半期累計期間に比べ872百万円増加し、6,786百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

以下は、当第３四半期累計期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。
（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店		代理店		ＦＣ店		合計	
ゲオグループ店舗施設数	1,207	(+88)	105	(△2)	141	(+4)	1,444	(+89)
小売サービス店舗	1,152	(+87)	105	(△2)	141	(+4)	1,389	(+88)
メディア取扱店舗	966	(+69)	105	(△2)	100	(+3)	1,171	(+70)
古着取扱店舗	477	(+24)			45	(+3)	522	(+27)
総合リサイクル店舗	121	(+4)			36	(±0)	157	(+4)
携帯電話販売店等	38	(+2)					38	(+2)
アミューズメント施設	55	(+1)					55	(+1)
ゲオディノス	21	(+1)					21	(+1)
ウェアハウス	11	(△1)					11	(△1)
フィットネス施設	15	(+1)					15	(+1)
複合カフェ・飲食店	8	(±0)					8	(±0)

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は65,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,792百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3,189百万円、商品が5,095百万円増加したことによるものであります。固定資産は69,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が53百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、135,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,742百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は48,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,299百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が10,147百万円及び未払法人税等が4,147百万円増加した一方、１年内返済予定の長期借入金が1,344百万円及び引当金が518百万円減少したことによるものであります。固定負債は33,041百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,904百万円減少いたしました。これは主に社債が622百万円及び長期借入金が6,866百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、81,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,395百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は53,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,346百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益6,786百万円及び剰余金の配当1,577百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.2％（前連結会計年度末は35.9％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年10月27日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,299	26,488
受取手形及び売掛金	6,845	7,771
商品	14,207	19,302
その他	11,458	12,036
貸倒引当金	△413	△408
流動資産合計	55,397	65,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,346	16,376
その他（純額）	25,349	25,986
有形固定資産合計	41,696	42,363
無形固定資産		
のれん	4,383	3,617
その他	1,319	1,350
無形固定資産合計	5,702	4,967
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,928	14,874
その他	9,348	9,244
貸倒引当金	△1,629	△1,455
投資その他の資産合計	22,646	22,663
固定資産合計	70,045	69,995
資産合計	125,442	135,185
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,953	21,101
1年内返済予定の長期借入金	12,094	10,749
未払法人税等	808	4,955
引当金	1,128	609
その他	11,474	11,342
流動負債合計	36,458	48,758
固定負債		
社債	2,993	2,370
長期借入金	27,103	20,236
引当金	517	489
資産除去債務	2,919	3,095
その他	7,413	6,849
固定負債合計	40,945	33,041
負債合計	77,404	81,800

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	9,457	9,457
利益剰余金	30,281	35,491
自己株式	△3,378	△3,378
株主資本合計	44,964	50,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	135
その他の包括利益累計額合計	95	135
新株予約権	214	217
少数株主持分	2,763	2,856
純資産合計	48,037	53,384
負債純資産合計	125,442	135,185

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	186,536	191,546
売上原価	109,938	109,256
売上総利益	76,598	82,289
販売費及び一般管理費	67,665	68,385
営業利益	8,932	13,903
営業外収益		
受取保険金	446	197
不動産賃貸料	－	602
その他	1,002	445
営業外収益合計	1,448	1,244
営業外費用		
支払利息	647	486
不動産賃貸費用	－	366
その他	421	426
営業外費用合計	1,069	1,280
経常利益	9,312	13,868
特別利益		
負ののれん発生益	1,498	－
その他	260	－
特別利益合計	1,758	－
特別損失		
減損損失	510	547
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,312	－
その他	333	49
特別損失合計	2,155	597
税金等調整前四半期純利益	8,915	13,270
法人税、住民税及び事業税	1,997	5,985
法人税等調整額	1,065	408
法人税等合計	3,063	6,393
少数株主損益調整前四半期純利益	5,852	6,877
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△62	90
四半期純利益	5,914	6,786

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,852	6,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	43
その他の包括利益合計	76	43
四半期包括利益	5,928	6,920
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,988	6,826
少数株主に係る四半期包括利益	△60	93

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間　（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	不動産	アミューズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	173,238	2,691	8,448	184,378	2,158	186,536	―	186,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	―	0	24	51	76	△76	―
計	173,263	2,691	8,448	184,403	2,210	186,613	△76	186,536
セグメント利益又はセグメント損失（△）	10,307	128	△19	10,416	49	10,466	△1,533	8,932

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,533百万円には、セグメント間取引消去△76百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,456百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間　（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	180,132	9,574	189,707	1,838	191,546	―	191,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	0	20	31	52	△52	―
計	180,153	9,574	189,728	1,870	191,598	△52	191,546
セグメント利益	15,068	444	15,513	48	15,562	△1,658	13,903

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,658百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,605百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．事業区分につきましては、従来「小売サービス」、「不動産」、「アミューズメント」の３つに区分しておりましたが、不動産事業を行っていた連結子会社の株式会社ゲオエステートを前期末に第三者に譲渡した為、第１四半期連結累計期間より、「小売サービス」、「アミューズメント」の２つの区分にしております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
（自己株式の消却） 当社は、平成23年12月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことを決議し、以下のとおり実施いたしました。 (1) 消却の理由　株主還元を目的として、当面活用の機会が定まっていない自己株式の消却を実施する。 (2) 消却の方法　その他資本剰余金から減額 (3) 消却した株式の種類　当社普通株式 (4) 消却した株式の総数　41,364株 (5) 消却実施日　平成24年１月31日 (6) 消却後の発行済株式総数　543,828株